

予算決算常任委員会審査報告書

令和5年12月14日

飯綱町議会議長 青山 弘 様

予算決算常任委員会委員長 石川 信 雄

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので会議規則第77条の規定により報告します。

記

事件番号	件 名	審査の結果
議案第79号	令和5年度飯綱町一般会計補正予算（第6号）	可 決

次に本委員会の審査の経過及び主な質疑について報告します。

○議案第79号 令和5年度飯綱町一般会計補正予算（第6号）

質疑①：教育費の備品購入費1,200万円について、詳細は。

回答①：本補正はスクールバスの関係である。小学生の通学バスは、統合前の牟礼東小学校と三水第一小学校で行っていたものは継続し、牟礼西小学校区と三水第二小学校区から通う児童は新たにスクールバスによる登校を開始し、現在に至っている。しかし、遠方から通う児童については、近年の猛暑による登下校時の熱中症の心配、秋口の日没時間の早まりによる交通事故、また防犯上の危険性などから、スクールバスの通学エリアの拡大を現在、計画している。変更点については、牟礼小学校では、現在、平出・番匠・福井団地地区の低学年の児童が通年、高学年の児童が11月から3月のみバス通学となっているが、この高学年の通学バスを通年とする。また、三水小学校では、現在バス通学となっている児童の学校からの最短の地区、直線距離で概ね2キロに合わせてエリアの拡大を計画している。これにより、牟礼小学校は長電バスへの委託で対応できるが、三水小学校は現在、町で運行しているスクールバス2台では不足するため、新たに14人乗り程度の小型のバスを2台購入することとした。なお、この時期に補正予算を計上した理由は、車両の納入には概ね半年ほど必要とのことであり、来年の夏までには開始したいからである。

質疑②：猛暑や日暮れの時間の関係については、以前からである。当初予算に計上すべきだと考えるが如何か。

回答②：日暮れ等の関係については以前からであり、PTA等からの要望があった。しかし、教育委員会では、体力面のことを考慮し、できる限り変更はしない方針できた。ただ、猛暑、特に今年の夏のような状況で通学している児童の様子を見るとぐったりしている。また、今年夏、ニュースで全国的に報道された、部活帰りの中学生が亡くなるといった事案も受け、年度の途中ではあるが最終的な決断をしたという状況。

質疑③：質問に対する答弁が不足しているが。

回答③：補正予算ではなく当初予算に計上すべきだという指摘について、教育委員会では通学の安全については常に注意を払っている。小学校の統合の際、原則として旧牟礼西小学校区と旧三水第二小学校区の児童に対して、環境変化などの不利益に対する激変緩和策を講じた。しかし、この夏の猛暑の中、旧牟礼東小学校区や旧三水第一小学校区から通っている児童の中にも4km近い道のりを徒歩で通学している児童もいるため、健康上の問題が危惧されていた。当初は、来年度当初予算での計上を検討していたが、対応の遅れとならないよう、前倒しして今回の補正予算に計上した。

質疑④：農林水産業費の果樹振興事業費と農業振興負担金補助金について、今年の気象条件で農家が痛手を被り減収だということを耳にする。今回の補正の大きな事業だと感じるため、詳細な説明を。

回答④：果樹振興事業費について、果樹ということでリンゴに対する支援である。霜被害と干ばつ等の影響によりリンゴの品質が低下したため、例年より㊦リンゴの比率が非常に高くなっている。㊦リンゴをできるだけ高く販売できるようにという対策の中で、予算の概ね9割は、ふるさと納税等を使った特別商品を作っている。これはフルーツセンターでの選果機に係る経費に関係するものであり、この経費を町の予算で負担することにより、生産者の手数料がマイナスになるように補うものである。また、ふるさと納税を利用することにより、㊦リンゴの精算額を上げることを目指した補正予算である。農業振興負担金補助金については、米に対する支援である。今年の干ばつ、高温障害等による影響があったため、玄米60キロ当たり1,000円を補填するものである。昨年度の数量を目安に補正予算額を算出した。

質疑⑤：リンゴについてはふるさと納税に関連させた支援ということだが、米についての支援の仕方についてはどのような方法を考えているか。

回答⑤：米の支援については、令和3年度にも同様な事業を行っており、同じ方法で行う。基本的には農産物の検査、及び出荷販売を行った米に対して補助をする。農協経由、個人販売とも補助申請をしてもらう。

質疑⑥：果樹振興事業費と農業振興負担金補助金として支援するのはリンゴと米だ

けか。直売所での販売を含めて、野菜の生産者からも生産量が減ったという話を聞いた。今後、直売所の経営への悪影響も危惧されるが、どのように考えているか。

回答⑥：もも、なし及び野菜等を除外しているということではなく、今回は大変な被害が発生していると判断したリンゴと米を対象とした。野菜が全滅になるような被害が出た場合については、対応していくつもりである。なお、リンゴも米も直売所に出荷したものは対象外である。

討論：なし

採決の結果：賛成多数で可決とした。